平成 28 年度（第 62 回）

「前島密賞」募集要綱

公益財団法人　通信文化協会
〒131-8139　東京都墨田区押上 1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ９階
TEL:03-5809-7148 / FAX:03-3625-2521
http://www.tsushinbunka.org

１　趣旨

「前島密賞」は、近代国家の建設に当たり、社会の基盤となる郵便や物流を初めとしたネットワークを整備し、国民の暮らしに多大な利便性をもたらした逓信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、コミュニケーション分野でその精神を伝承発展せしめるため、昭和３０年に設けられました。

公益財団法人　通信文化協会では、本年第 62 回目（平成 28 年度）の「前島密賞」の表彰を実施します。

２　表彰対象

情報通信・放送に関わる次に掲げる特に顕著な功績者

（1）情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者

ア　多年にわたり困難な条件の中で、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の発展に大きな貢献をした者及び地道な努力を積み重ね他の模範として極めて大きな貢献をした者

イ　日常の業務遂行において、新たな工夫をこらすなどして、極めて大きな改善改良を行った者又は団体

ウ　多年にわたる地域への貢献活動を通じ、事業の存在基盤を高め、郵便局ネットワークを含む情報通信ネットワークの維持発展に貢献するとともに地域社会の活性化に極めて大きな貢献をした者又は団体

エ　天災事故に際し郵便局ネットワークを含む情報通信・放送の機能を守り、一般の模範となる顕著な功労のあった者又は団体

⑵　ＩＣＴ（情報通信テクノロジー）に係わるイノベーションを発案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者

専門的知識、能力と創意工夫によりＩＣＴに係わる新たなシステム、サービスの発案、改善、新規分野の開拓に直接且つ最も深く関わり、事業の進展、サービスの向上に極めて大きな貢献をした者又は団体

⑶　ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し顕著な功績があった者

ア　情報通信・放送のネットワークの核としてのコミュニケーション活動の振興に国内外で積極的に取り組み、豊かな社会の実現とネットワーク文化の振興に大きく貢献した者又は団体

イ　自らの積極的なコミュニケーション活動により、コミュニケーション土壌の醸成と文化の向上に大きな貢献をした者

ウ　郵便局ネットワーク及び情報通信・放送に関する国の政策・制度の発展に大きな貢献、功績があった者

３　応募期間

平成 28 年９月１日(木)から９月３０日(金)

４　推薦要領

⑴　応募は次の団体からの推薦によるものとします。

ア　総務省	イ　日本郵政株式会社
ウ　日本電信電話株式会社	エ　日本放送協会
オ　(一社)電気通信事業者協会	カ　(一財)日本ＩＴＵ協会
キ　(一社)日本民間放送連盟	ク　(一社)テレコムサービス協会
ケ　(一社)電波産業会	コ　(一社)日本ケーブルテレビ連盟

⑵　表彰歴

所属する組織内に表彰制度のあるものは、その最高レベルの表彰を受けていること、あるいは組織外の権威ある表彰を受けていること。

⑶　推薦の方法

ア　推薦は所定の様式の推薦書によってください。

なお、推薦に当たって、被推薦者に、必ず授賞されるものと誤解が生じないよう配意願います。

※　推薦書の様式は通信文化協会ホームページからも取り出せます。

http://www.tsushinbunka.org/pdf/maejima/h28suisen.doc

イ　業績に関する映像、文献等の資料があれば添付してください。

ウ　推薦内容について、各推薦機関のご担当者から説明をいただくことがあります。

エ　推薦書の記述に当たっては、次の点に配意してください。

（ア）候補者の功績内容は、出来る限り具体的に記述してください。

（イ）技術関係候補者の功績内容については、研究成果の実用化の状況も記述してください。また、複数人の共同研究によるものについては、それぞれの候補者が当該研究のどの分野を担当したのかを具体的に記述してください。

（ウ）推薦機関内における推薦順位

推薦機関内で複数の候補者を推薦する場合は、機関内での功績対象別(号別)に推薦順位を付す。（全体の授賞数が協会の予定数を超えた場合は、推薦機関の推薦順位をも考慮して授賞者を選考する。）

５　選考

⑴ 受賞候補者は、情報通信・放送及びコミュニケーション分野等の専門家及び有識者で構成する選考委員会で審査・選考します。

⑵ 受賞者は選考委員会の選考結果に基づき、通信文化協会の理事会で決定します。

６　表彰

⑴ 表彰件数(目安)は、16 件（個人 10 件、共同５件、団体１件）とします。

⑵ 受賞者には、賞状と副賞を贈ります。なお副賞は次のとおり。

- 個人表彰、メダル（20 万円相当）
- 共同研究、一人につき賞金 10 万円（最大５人まで）
- 団体、賞金 50 万円

※　受賞者のうち特に高度な功績があったと認められた者には、前島密賞（特別賞）を贈ります。特別賞は、賞状と副賞として金品 50 万円相当を贈ります。

⑶ 受賞者については、贈呈式に先立って報道機関に対して、その氏名と功績要旨を公表します。

７　推薦から選考・決定、贈呈式まで

① 推薦の受付期間		平成 28 年　9月　1日（木） ～9月３０日（金）
② 選考委員会による審査選考	第１回	11 月上旬
	第２回	１２月上旬
③ 理事会による決定 報道機関への発表		平成 29 年　１月 ～ ２月
④ 贈呈式		平成 29 年４月 11 日（火） （予定）

前島密賞 選考委員会 委員名簿

平成28年6月15日現在

（敬称略・５０音順）

	青　木　隆　典	（一社）日本民間放送連盟常務理事
	青　木　利　晴	元　（株）ＮＴＴデータ代表取締役社長
	秋　葉　重　幸	東京工業大学　『以心電心』ハピネス共創研究推進機構　機構長 （元　㈱KDDI研究所長）
	内　海　善　雄	元　ＩＴＵ事務総局長
	金　子　秀　明	（株）日本テレソフト代表取締役
	團　　宏　明	（公財）通信文化協会理事長
	登　坂　和　雄	（株）郵研社代表取締役社長
	樋　口　清　秀	早稲田大学国際学術院教授
	吉　野　武　彦	元　ＮＨＫ専務理事・技師長
委員長	吉　村　和　幸	元　通信総合研究所長